

乗用車

企業での営業活動に使用するセールスカー、マイカーとしても利用されるLPG乗用車も多数販売されています。

ヒュンダイはメーカー量産車
VPIなど先進型はメンテナンスフリー

改造車でもVPIなど先進型はメンテナンスフリーで信頼性が高い
LPガス電子制御気体噴射を採用。

グレンジャーはガソリン車と同価格

ヒュンダイのグレンジャーLPIは、量産車でガソリン車との差額がありません。燃料価格のメリットがそのまま享受でき、メーカーの保証もある高級LPG乗用車です。

車両価格はディーゼル並み、
でも燃料費はガソリンの約半分

ガソリン車より高価ですが、燃料費はガソリンの半分となり車両価格の高い分を回収した後は、走れば走るほどお徳なLPG車です。

予備燃料付！ハイブリッド的な「バイフューエル」

乗用車で遠出した際に、LPガススタンドがなくても走れる予備燃料を持つバイフューエル車や雪国で使える4WDタイプもあります。

Point 乗用車 選定のポイント

- ガソリン車からの代替は燃料コストが半分、オイル交換距離も2倍になります。
- 距離を乗る人にはお勧めです。
- VPI車は自動車部品専門メーカーのニッキが量産車向けに開発した最新システム。調整が不要で始動性が良く出力もガソリン車並みです。
- 田中モータースがトヨタディーラーと協力して販売しているELPI車は電子機器メーカーと共同で開発。予備燃料にガソリンを使えます。

トヨタ マークX ELPI

日産 ティーダラティオ1500 VPI

トヨタ クラウン ELPI

ヒュンダイ グレンジャー LPI

トヨタ カローラ アクシオ FAST

日産 シルフィ 2000 VPI

LPG PASSENGER CAR



LPG車でCO₂削減

「LPガス自動車普及促進協議会」チーム・マイナス6%

低CO₂、低排出ガスのLPG車

導入のご相談は下記までお問い合わせください。

LPG車等問い合わせ先

メーカー車

トヨタ自動車株式会社 フリート営業・特装部 フリート営業室
<http://toyota.jp/ecocar/index.html>

日野自動車株式会社 国内企画部商品計画室
<http://www.hino-sales.com/lineup/index7.html>

ヒュンダイ モーター ジャパン株式会社 営業チーム/フリート担当
<http://www.hyundai-motor.co.jp/vehicle/grandeur/index.html>

マツダ株式会社 国内営業本部 法人営業部
http://www.mspr.co.jp/inst_car/

後改造車

LPG内燃機関工業会

株式会社 田中モータース
<http://www4.zero.ad.jp/tanakam/index.html>

三菱自動車ロジテクノ株式会社 特装事業部
<http://www.mmc-mlt.co.jp/>

株式会社 日気サービス LPG事業部
<http://www.nkservice.co.jp/>

株式会社 ヤナギ
<http://www.yanagi-kuruma.com/>

フォークリフト

コマツユーティリティ株式会社 フォークリフトカンパニー 国内事業部 営業企画グループ
http://www.lift.co.jp/distrib/leo_nxtv/index.htm

住友ナコマテリアルハンドリング販売株式会社 営業企画室
<http://www.sumitomonacco.co.jp/products/forklift/quapro/option.html>

TCM株式会社 産業車両営業部
<http://www.tcm.co.jp>

株式会社 豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー お客様相談センター
<http://www.toyota-lf.com>

日産自動車株式会社 産業機械事業部 国内営業部
<http://www.nissan.co.jp/FORKLIFT/>

三菱重工業株式会社 物流機器部 物流車両課
<http://www.grendia.com/>

LPガススタンド等問い合わせ先

日本LPガス協会
<http://www.j-lpgas.gr.jp/lgv/index.html>

社団法人 全国エルピーガススタンド協会
<http://www.sutakyo.or.jp/>

LPガス自動車普及促進協議会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目14番1号
TEL.03-3503-5741 FAX.03-3580-7776
URL <http://www.nichidankyo.gr.jp/lpgcar/index.html>

Clean
LPガス自動車普及促進協議会
LPG Vehicle

03-5391-5412

03-3456-8890

03-5211-4034

03-3508-5180

03-3528-1645

03-3620-1211

03-3474-1871

03-5916-0660

03-3870-2032

050-3381-4539

03-5763-4956

03-3591-8229

0120-35-0275

03-5565-2662

042-761-1657

03-3503-5741

03-3580-7680

C l e a n P o w e r L P G

LPG車 導入のすすめ

26
万台
増加

京都議定書目標達成計画
2010年LPG車26万台増加に向けて取り組んでいます。

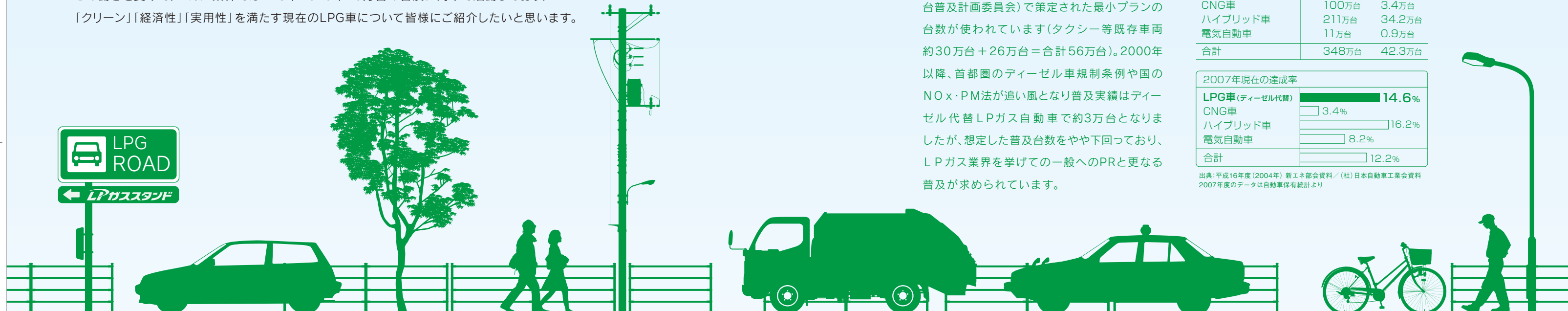
LPG
低CO₂
Vehicle

LPG
低騒音
Vehicle

LPG
低コスト
Vehicle

クリーンエネルギーのLPガス CO₂削減効果など環境性能に優れ、 低コスト、実用的なLPG車

現在、日本では7,700万台の自動車が行走しています。2005年2月に地球温暖化防止を目的とした京都議定書が発効され、日本でも、2012年には1990年と比較してCO₂を6%削減しなくてはなりません。主なCO₂排出源の中でも、自動車輸送部門は日本のCO₂排出量の約20%にもなり、対策は急務となっています。LPG車はCO₂排出量はガソリン車などに比較して約12%少なく、将来的に義務化の可能性のあるCO₂削減にも効果があります。さらに、LPG車は黒煙ゼロで、燃料を補給するLPガスの供給も、LPガスタンクの利用や自家用LPガスディスペンサーを設置することで簡単に使え、低コストで利用することができるのです。タクシーに続き、都市内で使われる貨物車や小型バスを、クリーンで低騒音・低振動、実用性に優れたLPG車に変える試みが生協や民間の運送会社でも急速に発展してきており、さまざまなユーザーでも、実用性に着目して利用する企業・団体が増えています。この動きを受けて、LPガス業界ではLPG車2010年26万台の普及に向けて活動しており、「クリーン」「経済性」「実用性」を満たす現在のLPG車について皆様にご紹介したいと思います。



国や自治体が認めるクリーンカー

2003年10月7日に経済産業省から発表（閣議決定）された「エネルギー基本計画」に初めてLPガスとLPG車の位置づけが明確化されました。LPガスは天然ガスと共に国民生活に重要な「ガス体エネルギー」とされ、同時にLPG車は「環境負荷の小さいLPG車の導入を促進する」と明記されエネルギー政策上明確に位置づけられました（右下図表参照）。

これら政府の動きとは別に、一部の地方自治体がLPG車の低公害性能や実用性を早くから認め、独自に位置づける動きもあります。首都圏の8都県市や近畿圏の7府県市では、LPG車を「指定低公害車」として認定し普及を図っています。このほかに、それぞれの地方自治体が条例でLPG車の位置づけを明確にして積極的に導入

している例もあります。名古屋市や、松本市、山梨県、青森県等では条例でLPG車の位置づけを実施しており、公用車等でも導入を推進しています。国が定めるグリーン購入法ではLPG車は一部しか対象として認められていませんが、一部の地方自治体ではLPG車の低公害性と実用性を条例で認め、積極的に進めています。このように独自にLPG車を位置づける動きは全国に広がっています。

各自治体で進められている低公害車指定制度への認定ステッカー



※LEV-7：近畿圏の7都県市による認定制度

LPG車
人と地球にスマイルを



2010年26万台普及計画

経済産業省の総合エネルギー調査会では、2000年に「クリーンエネルギー自動車の普及見通し」の検討を行い、この中でLPガス自動車については貨物車・乗合車・特種車の3車種を「ディーゼル代替LPガス自動車」として普及計画を立てています。

この26万台は、LPガス業界・団体・自動車業界の合同で2000年に策定した「先進型LPガス自動車普及検討委員会」（通称LPガス自動車100万台普及計画委員会）で策定された最小プランの台数が使われています（タクシー等既存車両約30万台＋26万台＝合計56万台）。2000年以降、首都圏のディーゼル車規制条例や国のNOx・PM法が追い風となり普及実績はディーゼル代替LPガス自動車で約3万台となりましたが、想定した普及台数をやや下回っており、LPガス業界を挙げての一般へのPRと更なる普及が求められています。

〈総合資源エネルギー調査会〉
2010年度クリーンエネルギー自動車導入目標

種類	目標台数	2007年現在
LPG車（ディーゼル代替）	26万台	3.8万台
CNG車	100万台	3.4万台
ハイブリッド車	211万台	34.2万台
電気自動車	11万台	0.9万台
合計	348万台	42.3万台

2007年現在の達成率	
LPG車（ディーゼル代替）	14.6%
CNG車	3.4%
ハイブリッド車	16.2%
電気自動車	8.2%
合計	12.2%

出典：平成16年度（2004年）新エネルギー資料／（社）日本自動車工業会資料
2007年度のデータは自動車保有統計より

政府のエネルギー基本計画で明確に位置づけされたLPG車

LPG車は、都市ガス（CNG車）や電気（電気自動車）と同一のクリーン性能で実用面でもっとも有利な位置にいます。国からは「LPG車は排出ガス性能に優れており、導入を促進する」とお墨付きを得ました。

エネルギー政策におけるLPガスの位置づけ

環境負荷が相対的に小さく天然ガスとともにクリーンエネルギー
国民生活に密着した分散型エネルギー



都市ガスとともにガス体エネルギーとして一体的に捉える
競争環境の整備等を通じてガス利用者の利益増進を図る

位置づけのポイント

- より一層のガスエネルギーの利用
- LPガスも、都市ガスに使われる天然ガスと同等に重要なガス体エネルギーに
- LPガスは、国民生活に密着した「クリーンエネルギー」
- LPガスは、環境負荷の小さな「クリーンガスエネルギー」



政策のポイント

- コージェネレーションや燃料電池に幅広く利用されるよう促進
- 環境負荷の低いLPG車の導入を促進
- LPガスの国家備蓄体制を確立

地球温暖化を進めてしまう、人体に有害な物質 CO₂・NO_x・PMを 大幅に削減。補給も簡単なLPG車

地球の気候変動を起こすといわれているCO₂(二酸化炭素)、自動車の排出ガスなど
燃焼から発生するNO_x(窒素酸化物)、PM(浮遊粒子状物質)。
LPG車はこうした排出ガスが少ない上に、LPガススタンドが全国に整備された実用的なクルマなのです。

LPG車の持つ本質的な 低CO₂性能が注目されています。

2005年2月に発効した二酸化炭素削減を目的とする「京都
議定書」が発効し、国を挙げてCO₂削減が求められています。

2012年には90年比で-6%以上の削減が求められています。

LPガスはガソリン・軽油に比べ本質的にC分(炭素分)が少なく
H分(水素分)の多い低炭素燃料。炭素分の少なさが燃やした
場合の二酸化炭素発生を抑制します。

また、LPG車の排出ガスは低CO₂な上に、クリーンです。

台所のガラストップコンロやかセットコンロで室内利用が
可能なほどクリーンな燃焼により低NO_xで黒煙・PMを
出さないのです。

トラックでのPM・NO _x 比較	
クリーンディーゼル車	0.020g/kWh
LPG車	0.002g/kWh
CNG車	0.002g/kWh
クリーンディーゼル車	1.69g/kWh
LPG車	0.01g/kWh
CNG車	0.01g/kWh
乗用車でのCO ₂ 比較	
ガソリン車	290.6g/km
LPG車	257.4g/km -12%

【トラックでのPM・NO_x比較(出典)】
クリーンディーゼル車・CNG車:
低公害車ガイドブック2003 環境省・経済産業省・国土交通省
LPG車: 日本自動車研究所調査データ アイスセル車: 日本車両検査協会測定データ

【乗用車でのCO₂比較(出典)】
平成13年度石油ガス構造改善調査
国土交通省所管・日本自動車輸送技術協会測定データ

LPG車の燃料補給

LPG車の燃料補給は、ガソリンスタンドではなく専用の「LPガススタンド」で補給します。
まとまった台数を保有する場合には、軽油・ガソリンと同じ「自家用LPガススタンド」も比較的安価に設置可能です。



全国に約1800ヶ所の
LPGスタンド

北海道地区	114ヶ所
東北地区	198ヶ所
関東甲信越地区	481ヶ所
東海・北陸地区	199ヶ所
近畿地区	238ヶ所
中国・四国地区	269ヶ所
九州地区	284ヶ所

出典:
社団法人全国エルピーガススタンド協会



簡易型LPガススタンド(第一種)*1



簡易型LPガススタンド(第二種)*2*3

街にあるLPガススタンドを利用する

全国に設置されたLPガススタンドは約1,800ヶ所。タクシーの
約93%がLPガス車ですから「タクシーのある街には必ずLPガス
スタンドがある」のです。もちろんLPガス車なら、どんな車両でも
燃料補給が可能です。燃料補給時間は、ガソリンや軽油の補給と
変わりません。最近では、清掃車・し尿処理車・道路維持作業車や
公用車での利用、自治体の運行するコミュニティバスでも利用
されています。

簡易型LPガススタンドを設置する

「どうしてもスタンドが近くにない」という場合には簡易型スタ
ンドを設置する方法があります。大きく分けて製造設備となる
「第一種製造設備」と製造設備の資格の不要な「第二種製造設備」が
あります。

メリット LPガススタンドの利点

- LPガス=約94円/Lで、ガソリンは約153円/L
軽油約132円/L に比較して安価*4
- 燃料は液体状でリッター単位
- タクシーで使われるスタンドを、そのまま利用可能
- 自家発電装置を持つスタンドも多く、
災害時でも活用された(阪神淡路大震災で実績)

メリット 簡易型LPガススタンドの利点

- 通常のスタンドに比べ、比較的安価
- 設備はリース可能で、1日当り約7000円からの
リース料で利用可能*5

*1 株式会社 サイサン 販売部 TEL.048-641-8211 *2 岩谷産業株式会社 自動車燃料部 TEL.03-5405-5747 *3 ミクニカイ株式会社 営業本部 プラント設備課
TEL.06-6394-0673 *4 価格は平成20年3月現在のものです。(出典:石油情報センター 平成20年3月価格情報・全国平均) *5 設備費・工事費を1200万円として
リース期間7年料率1.7%での計算例です。設置場所や条件により異なりますので詳しくは各社にご相談ください。

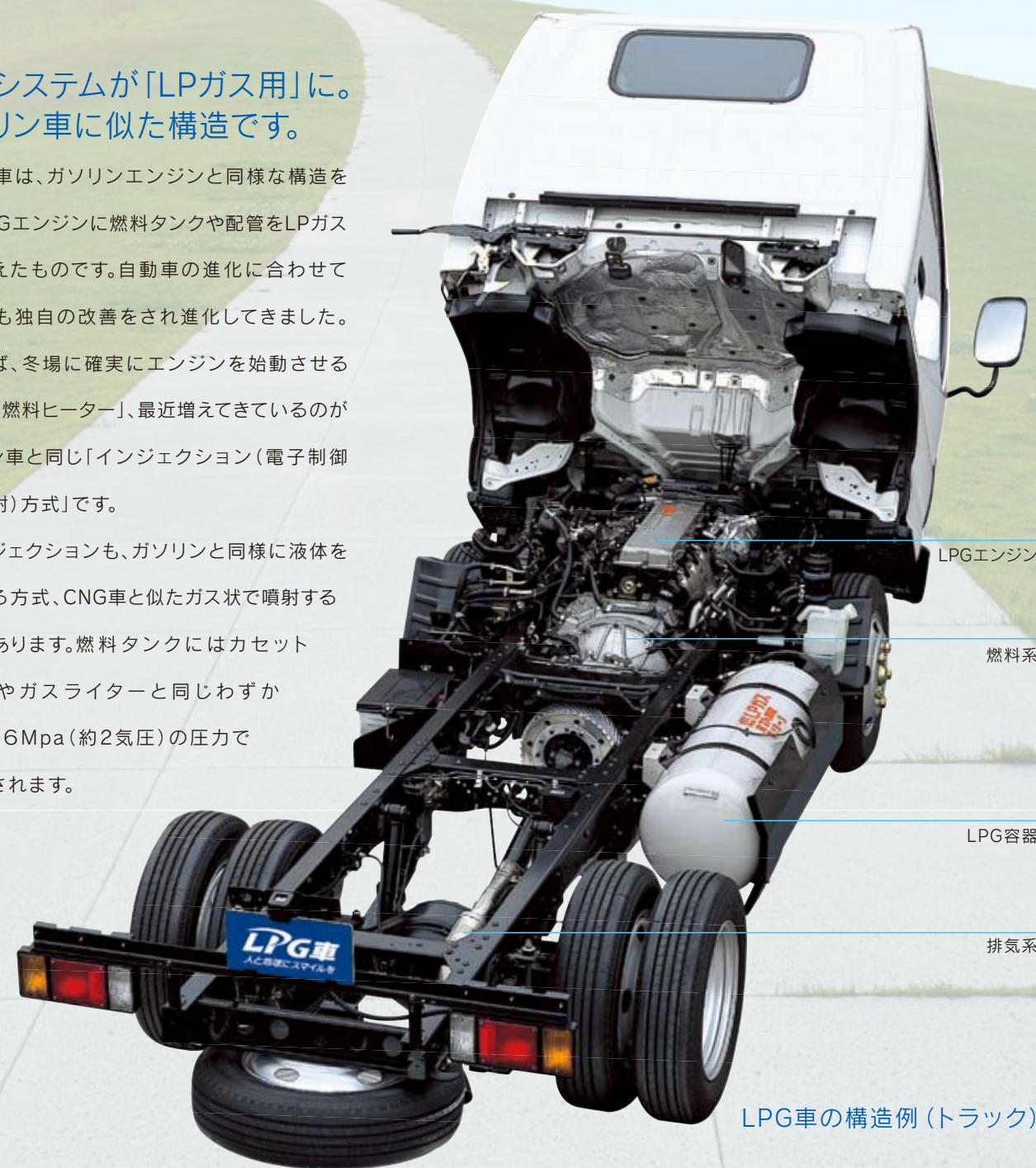
パワフル・優れたドライバビリティ・低コスト 最新LPG車のしくみ

LPG車の仕組みは、ガソリンエンジンと基本的な部分は同じです。
燃料供給システムがLPガスを使えるようにされています。また、ランニングコストも低コスト。
LPガスの燃料価格が、ガソリン価格の約2/3であることは大きな特長です。

燃料システムが「LPガス用」に。 ガソリン車に似た構造です。

LPG車は、ガソリンエンジンと同様な構造を持つLPGエンジンに燃料タンクや配管をLPガス用に変えたものです。自動車の進化に合わせてLPG車も独自の改善をされ進化してきました。たとえば、冬場に確実にエンジンを始動させるための「燃料ヒーター」、最近増えてきているのがガソリン車と同じ「インジェクション（電子制御燃料噴射）方式」です。

インジェクションも、ガソリンと同様に液体を噴射する方式、CNG車と似たガス状で噴射する方式があります。燃料タンクにはカセットコンロやガスライターと同じわずか0.2-0.6Mpa（約2気圧）の圧力で充てんされます。



LPG車の構造例（トラック）

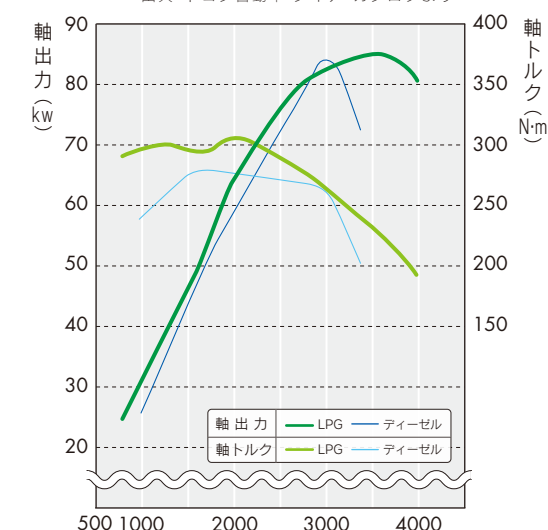
LPGトラック専用エンジンは 高出力で始動性良好な最新エンジン

自動車メーカーが量産するLPGトラックは、LPガス専用最適に開発・製造されたエンジンです。同程度の排気量4リットルのディーゼルエンジンと比較すると、出力・トルクは同等以上です。このエンジンは、2～3トン積載のトラックやマイクロバス・幼稚園バスにも利用されています。1.5トン積載のトラックでは、排気量2リットルで2.7リットルと同等の出力を持つものも市販されています。



トラック用エンジン出力比較

最大出力：85kW（116PS）/3600rpm
最大トルク：306N・m（31.2kgf・m）/2000rpm
出典：トヨタ自動車 ダイナ・カタログより



更に進化したLPG車「次世代先進型LPG車」

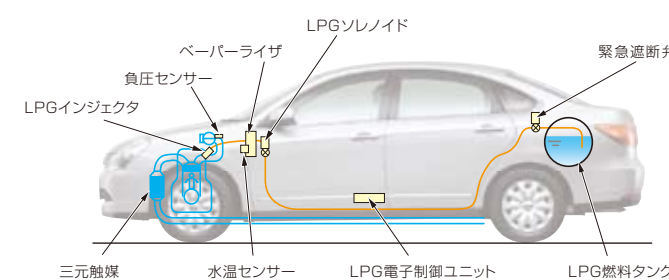
乗用車やライトバンを中心に普及し始めているのが「LPガス電子制御燃料噴射方式」です。ガソリンのEFI・EGIと呼ばれるインジェクションと同様なシステムです。

LPガスエンジンの場合には、燃料のLPガスを、圧力をかけた液体のまま、吸気部分で噴射する方式（LPI・LPLI・EFI-LPなど）、一度気化させたLPガスを気体のまま吸気部分で噴射する方式（VPI・ELPI・FASTなど）の2方式があります。90年代に欧州で開発され、日本では2000年代に開発が進みました。

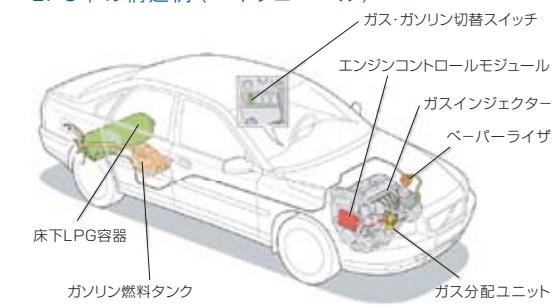
LPガスとガソリンの両方を使える「バイフューエル」

LPG専用車だけでなく、LPGと予備燃料にガソリンを使える1エンジン・2燃料車が「バイフューエル」です。LPG車が600万台普及している欧州で多いシステムです。予備燃料があるため、長距離走行が可能で、燃料補給の不安がないシステムです。

LPG車の構造例（LPG専用車）



LPG車の構造例（バイフューエル）



究極のエコカー「LPGハイブリッド」

今流行のエコカー「ハイブリッド車」。ガソリンエンジンとモーターで走るエコカーです。

このガソリンエンジンを低炭素なLPガスに変えたら「究極のエコカーになるのでは」と考えて国の補助を受け調査されたのが「LPGハイブリッド車」です。結果はベース車より約7%CO₂を減らし、ランニングコストも40%減となりました。

※平成19年度 資源エネルギー庁石油ガス構造改善調査「ハイブリッドカーのLPG化実現可能性の実証と普及可能性調査」



LPG車の選び方 ①

用途に合わせて多種多様なLPG車が準備されています。
このコーナーではLPG車導入の際の選び方のポイントをまとめ、皆様のLPG車導入の一助となるようにまとめました。



トヨタ ダイナ/トヨエース

日野 デュトロ



2～3t積トラック

運輸・運送向けドライバン、ダンプカー、冷凍冷蔵車、高所作業車、ボトルカーなど

2～3t積トラックでは、ディーゼル車で現状架装されているものは、ほとんど対応可能です。現在ご使用中のディーゼル車と同メーカー・同車種で対応可能。宅配便など多くの方々にご利用いただいております。

・現在使用中の車両と同型車があります

トヨタからはダイナ/トヨエース、日野からはデュトロと、2～3t積のLPGトラックがメーカーで開発・販売されています。

・車両価格はディーゼル並

LPGトラックは一時期ディーゼル車より高価でしたが、ディーゼル車の排出ガス規制強化で車両価格はどんどん上昇し、今ではディーゼル車の方が高価になってきています。つまりLPGトラックの方が相対的に安くなっています。また、日本LPガス協会の導入補助制度もあります。

Point

2～3tトラック 選定のポイント

- トヨタ、日野の2社から販売
- エンジン4.1L（出力はディーゼル同等・PGグラフ参照）
- 17年低排出ガス重量車☆☆☆
- 冷凍シャシ、PTOにも対応。多数の架装事例あり



1～1.5t積トラック

生協（共同購入配送・個別配送）、食品輸送、宅配、レッカー、その他工事・作業車両等

近距離配送に使用される750kg～1t積はディーラー特別仕様の改造車ですが、1～1.5t積は自動車メーカーが量産しており最近急速に利用が増加しています。生協様向けでは既に5000台以上をご利用いただいております。

・750kg～1t積は改造車

マツダボンゴ・日産バネットの2車種は改造車として販売されています。

・1.25～1.5t積はメーカー車

トヨタダイナ/トヨエース、マツダタイタンダッシュがメーカー各社から開発・販売されています。メーカーが量産販売しているので、どこかのディーラーでも購入可能です。

・車両価格はディーゼル並

2～3tトラックと同様、ディーゼル車の排出ガス規制強化でLPGトラックの方が相対的に安くなっています。また、日本LPガス協会の導入補助制度も適用されます。

・ガソリン代替なら更にお得

ガソリン代替ならば、燃料費は約半分となり更にお得になります。

Point

1～1.5tトラック 選定のポイント

- マツダ、トヨタの1.5トン車は2Lエンジン
4ナンバー対応で保険・税金もお得
- 1.5トン積は新車の他に、生協で使用していた中古車も多数販売されている。
- トヨタの2Lエンジンは、新方式のEFI-LPによる先進型液体噴射、2Lで2.7L並みの出力を実現
- トヨタはAT車、4WDもあり、架装も多彩な対応（冷凍・ガス工作車等）
- 1トン系は、ニッキの先進型VPIと内工会のFASTシステムの2車種

マツダ タイタンダッシュ



日産 バネットトラック VPI



トヨタ ダイナ/トヨエース

マツダ ボンゴトラック FAST

LPG車の選び方 ②

用途に応じた、LPG車の選び方やメリットをまとめました。

LPG BUSINESS CAR



日産 ADバン1500VPI

トヨタ プロボックス FAST

トヨタ サクシードバン ELPI

トヨタ ハイエースバン／
レジアスエースバン ELPI

ライトバン・ワンボックス

営業・メンテナンス活動用など

一般の営業活動や機器メンテナンス、薬品卸などで多く使われるライトバン・ワンボックスはディーラー特別仕様の改造車としてラインナップされています。既に多くの企業でご利用いただいております。

ライトバン、ワンボックスは改造車

ライトバンは日産ADバン・トヨタプロボックス、ワンボックスは日産キャラバン、トヨタハイエースが改造車として販売されています。

最新ハイパワー・低燃費の先進型

日産特販が販売するADバンVPIはLPG専用、新たにLPG内燃機関工業会から発売されたプロボックスFAST、田中モーターズが販売するプロボックスELPI、ハイエースELPIは予備燃料にガソリンを使用できるバイフューエルでどちらも「LPガス電子制御気体噴射システム」を搭載した最新型です。出力はガソリン車と同一、燃費もガソリン車並に走り、面倒なアイトリング調整等がなく、セル一発でかかる始動性のよさも持ち合わせています。

車両価格はディーゼル並

LPG車のライトバンはガソリン車よりは高価ですがディーゼル車とはほぼ同額になります。現在ディーゼル車のライトバンは少なくなっています。また、日本LPガス協会の導入補助制度もあります。

ガソリン代替なら更にお得

ガソリン代替ならば、燃料費は約半分となり更にお得になります。

Point

ライトバン・ワンボックス
選定のポイント

- VPI車は自動車部品専門メーカーのニッキが量産車向けに開発した最新システム。調整が不要で始動性が良く出力もガソリン車並みです。
- 田中モーターズがトヨタディーラーと協力して販売しているELPI車は電子機器メーカーと共同で開発。予備燃料にガソリンを使えます。

軽自動車

営業活動やメンテナンス等、食品配送や小口配送に使用される軽自動車もラインナップしています。

軽自動車は三菱ミニキャブだけがメーカー系特装車

軽自動車は三菱ミニキャブトラック・バンだけがメーカー系特装車で販売されています。

全国のディーラーで販売

三菱ミニキャブはメーカーで特装車として開発・生産されており、全国の三菱自動車ディーラーで購入可能です。ニッキから先進型LPG車も発売されています。

車両価格はやや割高、でも燃料費は約半分

ガソリン車より高価ですが、ガソリンが高騰する中、LPG車では燃料費は約半分になります。また、日本LPガス協会の導入補助制度もあります。

Point

軽自動車 選定のポイント

- 三菱車はメーカー特装車で全国販売、保証もついて安心
- 高性能な先進型がVPIとしてニッキよりトラック・バンタイプが発売中
- 4WD車も開発が進んでおり20年度中に発売予定。

LPG MINI CAR



日産 クリッパーバン VPI

三菱 ミニキャブトラック

スバル サンバーバン VPI

LPG BUS



トヨタ コースター(幼児専用車)

トヨタ コースター

トヨタ コンフォート

マツダ アクセラ

LPG DRIVING SCHOOL CAR

LPG SPECIAL VEHICLE



日野 デュトロ 塵芥車

トヨタ
ダイナノトヨエース 塵芥車

コマツ
コマツLEO・NTX-V

三菱重工業
三菱フォークリフト GRENDIA(グリンディア)

トヨタ自動織機
トヨタフォークリフト GENEIO(ジェネオ)

バス・教習車・特種車・特殊車

送迎用のマイクロバスや、自動車教習車・塵芥車・冷凍車・レッカー車・車両運搬車などの特種車、フォークリフト・ターレー等特殊車もLPG車がラインナップされ活躍しています。

送迎用マイクロバスはトヨタ・日野

26人／29人乗りのマイクロバスはメーカー量産車としてトヨタ・コースターと日野リエッセとして販売されています。幼稚園バス仕様や特装車にも対応しています。

自動車教習車はLPG車が主流に

自動車教習所の業界では、LPG車の採用が積極的に進んでいます。トヨタ・コンフォート教習車はメーカー量産、マツダアクセラはメンテナンスフリーな先進型です。

塵芥車や冷凍車・レッカー車。様々な特種車に対応します

清掃事業に使われる塵芥車は全国の自治体で約1500台利用されています。このほかにも食品配送などに使われる冷凍車や、JAF等のレッカー車、ガス緊急車など多種多様な特種車にもLPG車は使われています。

フォークリフトはLPGが流行しています

ガソリンフォークリフトからの改造・転換やメーカーオプションとしてLPGフォークリフトが流行しています。ガソリンのような危険性がなく燃料の保管が容易で、配達可能、そして排出ガスがクリーンで倉庫内でも利用できる等様々な特徴を持っています。

Point

バス・教習車・特種車・特殊車
選定のポイント

- バスはメーカー車なので、全国どのディーラーでも買える。
- 低騒音・低公害で幼稚園バスでの導入多し。
- 教習車は、ガソリンより安いコストのLPG車が人気。自家用スタンドも。
- 様々な特種車に対応可能。冷凍コンプレッサー・PTOなどLPG車に対応可能な車種もある。また燃料タンクが他の低公害車のように小さくなく、架装性が良い。
- フォークリフトはLPGが人気。低コスト・燃料供給の便利さ、ガソリン車との差額がわずか。